

鬼無里のここが好き!

■番外編■

鬼女紅葉さんに  
仮想インタビュー



左が村人に都の文化や読み書きなどを教え慕われた「貴女」紅葉で、右が妖術を使い、人心を操ったと言われる「鬼女」紅葉

伝説の主人公

## 鬼女 紅葉さん

伝説の主人公・鬼女紅葉に、もしインタビューできたなら・・・という設定で書いてみました。

あくまでもフィクションですが、書かれている内容は伝説で伝わっていることをベースにしています。

生まれは今の福島県会津若松です。平安時代の承平7年(937年)に生まれ、呉葉(くれは)と名付けられました。16歳で両親と京の都に上った時、名前を紅葉に変えたんです。その後、源経基公の正室が重い病に倒れたのは側室である私が彼女を呪ったからだという噂が立てられ、信濃国・戸隠の里に流されてしまったのです。ひどい濡れ衣ですよ!

流れ着いて住むことになった水無瀬(現在の鬼無里)は、山や川が近くにあって、とても静かで住みやすい場所でした。村の皆さんがとてもよくしてくださったので、お礼に読み書きやお箏を教えてあげたんです。私が寂しくないようにと、二条や三条など京の地名をつけてくれたのですが、最近やっぱり都が恋しくて、帰りたいなあと思っています。

**i** くわしい情報は、鬼無里観光振興会のホームページやツイッターをご覧ください。



ホームページ  
<https://kinasa.jp/>



ツイッター  
<https://twitter.com/kinasatiku>

**🚗** 鬼無里へのアクセス

アルピコ交通「長野駅善光寺口⑦番のりば」から「74系統鬼無里行き」にご乗車ください。  
(片道約1時間)



アルピコ時刻表

鬼無里観光振興会

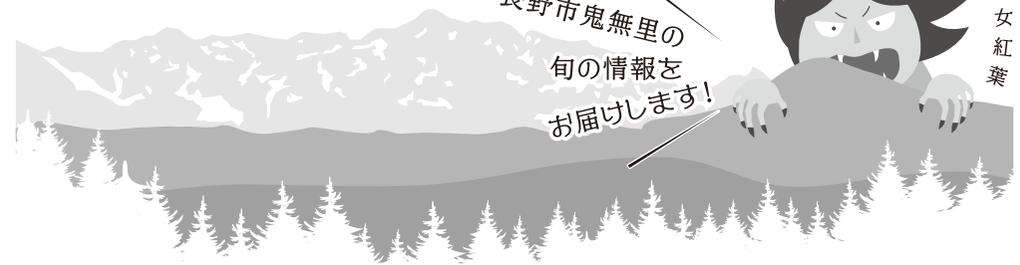
〒381-4302長野県長野市鬼無里日影2750-1 (鬼無里支所内)  
TEL: 026-256-3188 FAX: 026-256-2237  
Email: [kinasatiku@tgk.janis.or.jp](mailto:kinasatiku@tgk.janis.or.jp)  
営業時間: 月曜～金曜日 8:30～17:00 (土日祝日、年末年始休業)

2021年2月発行

# 鬼無里に きなされ～



## COME AND VISIT KINASA



## TOPICS 貴女か鬼女か!? 鬼女紅葉伝説

～紅葉ゆかりの場所を訪ねて伝説に思いをはせてみませんか?

- Contents
- ・鬼女紅葉伝説
  - ・鬼女紅葉に会いに行こう (モデルコース)
  - ・鬼無里のここが好き! ~番外編 鬼女紅葉さんに仮想インタビュー

# 伝説は諸説あります。

## 鬼女紅葉伝説

鬼のいない里、鬼無里の名前の由来になったとも言われる

「鬼女紅葉伝説」。鬼無里ではもともと、紅葉は村人に京の文化や読み書きを伝えた才気ある「貴女」として親しまれていました。一方で、室町時代から上演されてきた能の「紅葉狩」では、美しい女性に姿を変えて人を襲う鬼として描かれています。また、初めて「紅葉」という鬼が記録されたのは、松本藩が1724年(享保9)年に編さんした信府統記(しんぷとうぎ)です。江戸時代には様々な解釈で伝説が変化していきました。



現在の鬼女紅葉伝説は、明治19(1886)年に書かれた「北向山霊験記」がベースになっていますが、「歴史」ではなく「伝説」なので、諸説あってもおかしくないですね。

いまから千年以上前、紅葉という美しい女性が皇族で武将だった源経基(みなものつねもと)の側室として寵愛を受けていました。ところが、経基の正室が病に倒れると「紅葉が呪い祈禱している」と噂がたち、戸隠に流されてしまいます。

戸隠山のふもと、水無瀬(みなせ)の里にたどり着いた紅葉は、その美しさと読み書き、裁縫、歌舞音曲などの教養から村人たちに敬愛され、大切にされました。紅葉は、東京(ひがしきょう)、西京(にしきょう)、二条、三条などの地名をつけて都を偲び、人々に都の文化や読み書き、医術などを伝えて暮らしていました。

ところが、経基や都への思いは消えず、再び上京しようと戸隠の荒倉山の岩屋に移り住み、山賊を仲間にし、力づくでも都に上ろうと考えるようになりました。人々は紅葉を鬼女と呼び恐れ、それを知った京の朝廷は平維茂(たいらのこれもち)に討伐を命じました。

最初、紅葉の妖術で維茂は敗走しましたが、別所の北向観音に必勝祈願をして授かった降魔の剣で紅葉を攻め、紅葉は33歳で命を落とします。

以来、水無瀬と言われたこの地は、鬼のいない里「鬼無里」と呼ばれるようになりました。いまも鬼無里には、東京、西京など京にちなんだ地名や紅葉が暮らした内裏屋敷跡が残っています。



紅葉の供養のために地蔵院を建立したことが始まりと言われる松巖寺(しょうがんじ)では、毎年9月に鬼女紅葉の法要を行っています。紅葉の墓や紅葉を討った降魔の剣、紅葉伝説にひかれて当地を訪れた川端康成の文学碑が残されています。戸隠、鬼無里の地にはこのほかにも様々な鬼女紅葉の物語が伝えられています。

## Model course

都を追われた紅葉が暮らした内裏屋敷跡から紅葉の墓まで

### 鬼女紅葉に会いに行こう

旅はかつての住まい「内裏屋敷跡」からスタート。都をしのんだ地名が残る集落を歩き、平維茂が祈願の際に立ち寄ったとされる神社を訪ね、ふるさと資料館で鬼女紅葉伝説の絵巻を見たら、紅葉のお墓参り。時間に余裕があれば、戸隠にある紅葉ゆかりの地まで行ってみましょう。

- ・内裏屋敷跡 鬼女紅葉の住まいがあったと伝わる内裏屋敷跡から、フットパス「谷の都コース」の地図を片手に旅を始めましょう。
- ↓
- ・フットパス 「谷の都コース」 紅葉が京の都をしのんでつけたと言われる東京(ひがしきょう)、西京(にしきょう)を歩きます。
- ↓
- ・白髭神社 平維茂が鬼女紅葉征伐の祈願で訪れたといわれています。フットパス「しらひげの杜コース」の立寄りポイントです。
- ↓
- ・鬼無里 ふるさと資料館 伝説鬼女紅葉絵巻物の展示があります。資料館スタッフから、ガイドには書かれていない話が聞けるかもしれません。
- ↓
- ・松巖寺 紅葉の菩提寺として地蔵院を建立して供養したのが寺の起源と言われています。紅葉の墓や川端康成の文学碑を探してみましょう。  
※降魔の剣は、常時公開していません。
- ↓
- ・鬼無里神社 平維茂が鬼女紅葉討伐を祈願したといわれます。フットパス「鬼無里の町かどコース」の立寄りポイントです。  
※詳しくは鬼無里観光振興会のHP、パンフレットをご覧ください。  
**鬼無里観光振興会 ☎026-256-3188**
- 
- せっかくなので、戸隠にも足を伸ばして、紅葉の足跡を訪ねてみましょう。
- ↓
- ・鬼の塚 戸隠栃原の志垣地区にある「鬼の塚五輪塔」は、紅葉を討った平維茂がその首を埋めたと言われています。
- ↓
- ・大昌寺 紅葉ゆかりの寺。「紅葉狩」の掛け軸や平維茂と紅葉と一緒に祀った位牌があります。近くにある戸隠化石資料館にも寄ってみましょう。
- ↓
- ・紅葉の岩屋 紅葉が晩年に身を隠したと言われ、鬼の岩屋とも言われています。  
(荒倉キャンプ場から歩けます)